

平成 27 年度茨城県高等学校文化連盟将棋部会第 1 回理事会並びに研究協議会

平成 27 年 4 月 16 日 (木)
於 水戸第一高等学校

1 開 会

2 会長挨拶

3 議 事

- ① 平成 26 年度事業報告及び反省 (いばらき総文 2014 将棋部門報告を含む)
- ② 平成 26 年度会計決算報告 (諸会計全般)
- ③ 平成 26 年度会計監査報告
- ④ 役員改選に関する確認 (ウェブマスター役員の追加)
- ⑤ 平成 27 年度役員改選 (新役員決定)
- ⑥ 平成 27 年度事業計画の検討
- ⑦ 平成 27 年度会計予算の検討
- ⑧ 確認事項・説明事項について
 - ア 将棋部会事務局等の担当校について
 - イ 大会規定の変更確認について
 - ウ 「茨城県高等学校文化連盟賞」表彰の推薦について
 - エ 茨城県高等学校文化新規事業 (文化活動推進事業報告) について
 - オ 将棋部会サイトに将棋部会公文書を掲載することについて
 - カ 将棋部会メールアドレスを全国事務局等への登録アドレスにすることについて
 - キ 40 周年記念誌について
 - ク 事務局持ち回り制に伴う 50 周年記念誌発刊のためのデータの保存について
 - ケ 春季大会文書検討
- ⑨ 将棋の指導方法について (研究協議)
- ⑩ その他

4 閉会

平成26年度 茨城県高等学校文化連盟将棋部会事業

期 日	実 施 内 容	摘 要
4月17日(木)	平成26年度茨高文連将棋部会総会 及び第1回理事会 (水戸一高)	平成25年度事業報告, 会計決算報告会計監査報告 平成26年度役員改選 平成26年度事業計画 平成26年度会計予算案 全国高等学校将棋選手権大会(第38回全国総合文化祭)の茨城県代表決定戦要項審議及び発送 全国高等学校将棋竜王戦茨城県代表決定戦準備
5月9日(金) ～10日(土)	第38回全国高等学校総合文化祭将棋部門(第50回全国高等学校将棋選手権大会)茨城県代表決定戦(会場 水戸一高)	茨城県代表 団 体 江戸川学園取手(男子)/鹿島(女子) 男子個人 1位 上村友大(太田一)・2位 三村廉(日立一) 3位 山崎英幸(翔洋)・4位 中谷祥也(牛久栄進) 女子個人 1位 岩堀佳菜(土浦一)・2位 足立美桜(水戸葵陵) 3位 崔恵仁(水戸葵陵)・4位 佐々木春香(大洗)
6月14日(土)	第27回全国高校将棋竜王戦茨城県大会(会場 県民文化センター)	優勝 (茨城県代表) 上村友大(太田一)
6月23日(月)	第38回全国高等学校総合文化祭結団式	高文連各部門の茨城県代表が招集される
6月28日(土)	全国高等学校総合文化祭将棋強化会	県代表権獲得者を茨城アマ強豪に指導願う
7月27日(日)～ 28日(月)【24～25日は水戸一高で掲示物等を作成, 26日は会場で前日準備】	第38回全国高等学校総合文化祭将棋部門(第50回全国高等学校将棋選手権大会) (会場 茨城県水戸市・茨城県武道館)	茨城県代表出場 団 体 江戸川学園取手/鹿島【共に予選敗退】 男子個人 山崎(ベスト16) / 中谷・三村【本戦出場】 / 上村【予選敗退】 女子個人 岩堀(ベスト16) / 足立・崔・佐々木【予選敗退】
8月24日(日) ～25日(月)	第27回全国高校将棋竜王戦 (会場 福岡県福岡市電気ビル共創館)	茨城県代表出場 上村友大(太田一)全国3位
10月4日(土)	第5回段級位認定大会(第9回県総文祭大会) (会場 石岡市民会館)	A級 大東純(水戸一) B級 細谷佳正(水戸一) C級 富澤 玲(日立商) D級 滑川佳樹(日立商)
11月13日(木)	第23回全国高校文化連盟将棋新人大会 兼 第25回関東高校文化連盟将棋専門部選手権大会茨城県代表決定戦 (会場 石岡市民会館)	男子1位 山崎英幸(翔洋) / 2位 大東純(水戸一) 3位 上村友大(太田一) / 4位 三村廉(日立一) 女子1位 岩堀佳菜(土浦一) / 2位 笠野里緒(鹿島) 3位 笠井玲奈(鹿島) / 4位 保立祐希(鹿島)
12月20日(土)～ 21日(日)	第25回関東高校文化連盟将棋専門部選手権大会(会場 埼玉県さいたま市With You さいたま(埼玉県男女共同社会参画センター))	茨城県代表出場 男子 山崎(翔洋)・大東(水一)・上村(太田一)・三村(日一) 女子 岩堀(土浦一)・笠野(鹿島)・笠井(鹿島)・保立(鹿島) 上村・岩堀は5位/会長杯で笠野1位, 山崎2位
1月29日(木) ～1月31日(土)	第23回全国高校文化連盟将棋新人大会 (会場 新潟県・ホテルオークラ新潟)	茨城県代表出場 男子 2名 山崎(翔洋)・大東(水戸一) 女子 4名 岩堀(土浦一)・笠野(鹿島) 笠井(鹿島)・保立(鹿島) 山崎は全国3位・岩堀は全国5位
1月27日(火)	第2回理事会 (水戸一高)	平成26年度事業中間報告, 会計決算中間報告 平成27年度役員改選案, 事業計画案, 予算案

平成27年度 茨城県高等学校文化連盟将棋部会事業（案）

期 日	実 施 内 容	摘 要
4月16日（木）	平成27年度茨高文連将棋部会総会 及び第1回理事会 （水戸一高）	平成26年度事業報告, 会計決算報告会計監査報告 平成27年度役員改選 平成27年度事業計画 平成27年度会計予算案 全国高等学校将棋選手権大会（第39回全国総合文化祭）の茨城県代表決定戦要項審議及び発送 全国高等学校将棋竜王戦茨城県代表決定戦準備
5月8日（金） ～9日（土）	第39回全国高等学校総合文化祭将棋部門(第51回全国高等学校将棋選手権大会)茨城県代表決定戦（会場 水戸一高）	茨城県代表 団 体 男子個人 女子個人
6月13日（土）	第28回全国高校将棋竜王戦茨城県大会（会場 水戸一高）	優勝（茨城県代表）
7月28日（火） ～29日（水）	第39回全国高等学校総合文化祭将棋選手権 （会場 滋賀県米原市・滋賀県立文化産業交流会館）	茨城県代表出場 団 体 男子個人 女子個人
8月19日（木） ～20日（金）	第28回全国高校将棋竜王戦 （会場 福岡県）	茨城県代表出場 男子個人
10月 3日 （土）	第10回県総文祭大会（第6回段級位認定大会） （会場 水戸一高）	誤認を避けるため公文書には段級位の文言を書かない
11月13日（金）	第24回全国高校文化連盟将棋新人大会 兼 第26回関東高校文化連盟将棋専門部選手権大会茨城県代表決定戦 （会場 石岡市民会館）	男子1位 2位 3位 4位 女子1位 2位 3位 4位
12月20日（日）	第26回関東高校文化連盟将棋専門部選手権大会（会場 群馬県）	茨城県代表出場 男子4名 女子4名
1月28日（木） ～1月30日（土）	第24回全国高校文化連盟将棋新人大会 （会場 熊本県阿蘇市・阿蘇の司ビラパークホテル）	茨城県代表出場 男子 2名 女子 4名
1月26日（火）	第2回理事会 （水戸一高）	平成27年度事業中間報告, 会計決算中間報告 平成28年度役員改選案, 事業計画案, 予算案

平成 26 年度茨城県高等学校文化連盟将棋部会役員

役 職	氏 名	勤 務 校	大 会 担 当	上 部 機 関 役 職
会 長	生田目正直	高萩清松高等学校 (学校長)	茨城県全大会 最高責任者 関係各方面への 連絡通知の統括	全国高等学校文化連盟将棋部会代表
副会長	鈴木 康司	茨城工業高専	各大会賞状準備	
事務局 (幹事)	矢須 雅進 藤崎 正輝 大山 雅道 吉田 真弘 矢須 雅進 関根理恵子 矢須 雅進	石岡第一高等学校 大洗高等学校 水戸第一高等学校 竜ヶ崎第一高等学校 石岡第一高等学校 日立工業高校 石岡第一高等学校	事務局長 次長/夏季大会(竜王戦) 春季大会 段級位認定大会 秋季大会(新人戦) 会計 書記	茨城県高等学校文化連盟将棋部会理事 関東地区高等学校文化連盟将棋部会理事
監 査	今井 健二 小賀柳一	水戸葵陵高等学校 水城高等学校		
理 事 【学事録 順に配列】	皆藤新一 鈴木純子 関根理恵子 中村秀子 中郡久夫 大山雅道 山田健二 櫻井三夫 藤崎正輝 黒澤義生 前川匡史 幕内研司 矢須雅進 吉田真弘 坂入勝雄 保護者 増渕禎志 佐藤康 早川大祐 原健一 宮城晶軌 今井健二 出口洋一 江幡収一 安齊隆 豊島雪乃 清水信行 桑原昭之	茨城工業高専 日立第一高等学校 日立工業高等学校 日立商業高等学校 太田第一高等学校 水戸第一高等学校 緑岡高等学校 海洋高等学校 大洗高等学校 波崎高等学校 鹿島高等学校 土浦第一高等学校 石岡第一高等学校 竜ヶ崎第一高等学校 竹園高等学校 牛久栄進高等学校 古河第三高等学校 並木中等教育学校 翔洋学園高等学校 茨城高等学校 水城高等学校 水戸葵陵高等学校 清真高等学校 霞ヶ浦高等学校 土浦日大高等学校 土浦日大中等教育学校 東洋大牛久高等学校 江戸川学園取手		
顧 問				

平成 27 年度茨城県高等学校文化連盟将棋部会役員（案）

役 職	氏 名	勤 務 校	大 会 担 当	上 部 機 関 役 職
会 長	福島克郎	古河第三高等学校 (学校長)	茨城県全大会最高責任者 関係各方面への連絡 通知の統括	全国高等学校文化連盟将棋部会代表
副会長	坂入勝雄	竹園高等学校	各大会賞状準備	
事務局 (幹事)	増渕禎志 中郡久夫 桑原昭之 矢須雅進 鹿島卓郎 斧田並枝 佐藤康 斧田並枝	古河第三高等学校 太田第一高等学校 江戸川学園取手 石岡第一高等学校 海洋高等学校 緑岡高等学校 並木中等学校 緑岡高等学校	事務局長 事務局次長 夏季大会（竜王戦） 春季大会 総文祭大会 秋季大会（新人戦） 会計 書記	茨城県高等学校文化連盟将棋部会理事 関東地区高等学校文化連盟将棋部会理事
監 査	鈴木純子 中村秀子	日立第一高等学校 日立商業高等学校		
審判員	藤崎正輝		ルール上の最終判断	
Web 担当	矢須雅進	石岡第一高等学校	Web 制作・公文書等掲載	
理 事 【学事録 順に配列】	鈴木康司 鈴木純子 関根理恵子 中村秀子 中郡久夫 黒羽信夫 斧田並枝 鹿島卓郎 藤崎正輝 亀田拓 木村幸彦 矢須雅進 荒井豊水 坂入勝雄 増渕禎志 佐藤康 原健一 小賀柳一 今井健二 関修一 江幡収一 安齊隆 豊島雪乃 中島徳高 板橋宏	茨城工業高専 日立第一高等学校 日立工業高等学校 日立商業高等学校 太田第一高等学校 水戸第一高等学校 緑岡高等学校 海洋高等学校 大洗高等学校 鹿島高等学校 土浦第一高等学校 石岡第一高等学校 竜ヶ崎第一高等学校 竹園高等学校 古河第三高等学校 並木中等教育学校 茨城高等学校 水城高等学校 水戸葵陵高等学校 清真高等学校 霞ヶ浦高等学校 土浦日大高等学校 土浦日大中等教育学校 東洋大牛久高等学校 江戸川学園取手		
顧 問				

○平成 27 年度以降の事務局制度について【平成 27 年現在これが最終的なものになっています】

平成 26 年度の事務局長、事務局次長は、平成 27 年度は将棋部会に確実に来られるかは分からない。何校か打診したが、事務局を引き受けてくださる学校がない。現在の、「やれる人がやる」というシステムに限界がきたと考えられる。従って「総文祭が終了した平成 27 年度以降は事務局を輪番制に切り換えたい」と提案して了解を得た。新役員は平成 26 年度秋季大会顧問会議で決定した。

1. 輪番制について

茨城県高等学校文化連盟将棋部会に関する職務をいくつかの係に分け、輪番制で担当し、将棋部会加入校の負担の公平化を図る。

2. 分担する職務について

将棋部会加入校を、事務局担当校と試合運営主要担当校の 2 グループに分ける。主要な担当は次のようにする。

○事務局担当校グループ（原則として県立高等学校等）

- ・事務局長、事務局次長と大会運営担当校（春季大会担当・竜王戦担当・総文祭〔段級位認定〕大会担当・秋季大会担当の計 4 校）、会計（1 名）、書記（1 名）、監査（2 名）を担当する。理事会資料の役員一覧に記名される係はこのグループが担当する。ただし、事務局長校だけは将棋部会顧問を 1 年以上経験した学校とし、新規加入する学校が事務局長校となる順番である時は、次の順番の学校が事務局長校を先につとめるものとする。
- ・大会運営担当校は各大会で準備する要項や、対戦表、記録用個票等該当大会のみで使用するものを準備すること、大会全体を采配すること、大会の記録を整理して事務局長に届け、事務局長が定められた日までに上位大会（全国・関東）事務局にデータの提出ができるようにすることを職務とする。

○試合運営主要担当校グループ（原則として私立高等学校等）

- ・事務局担当校グループが担当する職務以外の職務はこのグループが全て担当する。試合に必要な棋具（将棋盤・将棋駒・試合用時計〔電池を含む〕）と、その他の試合用品（文房具・賞状・賞状押印用事務局印・試合用賞品・試合運営用コンピュータ等）を管理する。管理には、試合日以外の管理と試合当日の試合会場への運搬、試合会場から管理場所への運搬を含む。管理場所は該当校の校内を原則とする。各大会で準備する要項や、対戦表、記録用個票等は、事務局担当校グループの大会担当校が準備するが、各大会で共通して用いる道具類は試合運営主要担当校グループが担当することを原則とする。
- ・試合当日は大会の各階級・各組の責任者として大会運営担当校に協力し、担当階級・各組の結果を大会運営担当校に報告する。
- ・試合運営用コンピュータは平成 26 年度中までに部会で購入することを原則とするが、予算的に間に合わなかった場合は該当校内で調達する。

3. 事務局及び試合運営主要担当の担当者について

事務局及び試合運営主要担当を務めるのは該当校に勤務する教員に限定し、保護者等が引率する加入校の場合は、事務局等の引き受けは輪番の次の学校に回す。将棋部会加入校教員であっても、私立学校等は学校長から役員引き受けを断わる職務命令が出されていることがあるため、輪番事務局グループからは除き、試合運営主要担当校グループに分類することを原則とする。

4. 事務局等予定校の不加入の場合について

決定した予定校（事務局担当校及び試合運営主要担当校のどちらも）が、次年度に将棋部会に加入しなかった場合は、その次の学校番号の将棋部会加入校を担当校として順次回す。この加入しなかった学校が次年度以降に再度加入した場合は、過年度分として事務局を引き受けるものとする。将棋部会に加入しないことで、事務局を務めなかった学校が遡って事務局を務めるのは 3 年を限度とする。

5. 平成 27 年度以降は 1 年単位で、学校が学事録に掲載されている順に回す。

6. 審判員について

審判員という役員を新設し、将棋の判断に関することは新設する審判員に任せる。将棋部会事務局輪番制導入にともない、将棋未経験者が事務局入りする可能性が高まった。将棋未経験者でも将棋部会の事務局ができるようにするのが目的である。審判員は、将棋部会内で将棋に詳しい若干名を充てることとする。審判員は固定制として事務局等の役員及び大会担当からは外す。

平成 27（2015）年 1 月改訂《平成 26 年度第 2 回理事会検討用》

現行 第 6 条 本部会に次の役員をおく。

会長 1 名 副会長 2 名 顧問 若干名 幹事 若干名 監査 2 名 理事 各校 1、2 名

案 第 6 条 本部会に次の役員をおく。

会長 1 名 副会長 2 名 顧問 若干名 幹事 若干名 監査 2 名 理事 各校 1、2 名 **審判員 若干名**

目的 将棋を知らない教員が引率者になることがあるので、審判員を固定化して、審判となった者は他の役員（大会担当・事務局）等になることから外し、将棋の規則上の判断を行うことに専念する。事務局輪番制を導入することによって、将棋をあまり知らない顧問が事務局長にならざるを得ない可能性があるが、将棋の判断に関することを審判員に集め、事務局の仕事の敷居を低くすることにより、事務局を誰でもできるようにして、仕事の負担の公平化を図る。

将棋部会第2回理事会・平成27年度以降の事務局及び担当(役員・大会)について

2015.1.27

平成26年度茨城県高校将棋部会に加入している学校(2014学事録順に配列)

A 事務局等担当グループ

大洗がH27、H28に審判を担当したとき

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	12	13	14	16	17	18	28
	茨城高専	日立一	日立工	日立商	太田一	水戸一	緑岡	海洋	大洗	鹿島	土浦一	石岡一	竜ヶ崎一	竹園	古河三	並木中等	江戸川取手
H27役員		監査		監査	事務局次長		書記		審判					副会長	事務局長	会計	
H27大会担当							秋季大会	県総文祭					春季大会				竜王戦
H28役員			監査		監査	事務局次長		書記	審判						副会長	事務局長	会計
H28大会担当	竜王戦							秋季大会		県総文祭			春季大会				
H29役員	会計			監査		監査	事務局次長		書記							副会長	事務局長
H29大会担当		竜王戦							県総文祭	秋季大会				春季大会			
H30役員	事務局長	会計			監査		監査	事務局次長		書記							副会長
H30大会担当			竜王戦						秋季大会		県総文祭				春季大会		
H31役員	副会長	事務局長	会計			監査		監査	事務局次長		書記						
H31大会担当				竜王戦						秋季大会	県総文祭					春季大会	
H32役員		副会長	事務局長	会計			監査		監査	事務局次長		書記					
H32大会担当					竜王戦						秋季大会	県総文祭					春季大会
H33役員			副会長	事務局長	会計			監査		監査	事務局次長		書記				
H33大会担当	春季大会					竜王戦						秋季大会	県総文祭				
H34役員				副会長	事務局長	会計			監査		監査	事務局次長		書記			
H34大会担当		春季大会					竜王戦						秋季大会	県総文祭			
H35役員					副会長	事務局長	会計			監査		監査	事務局次長		書記		
H35大会担当			春季大会					竜王戦						秋季大会	県総文祭		
H36役員						副会長	事務局長	会計			監査		監査	事務局次長		書記	
H36大会担当				春季大会					竜王戦						秋季大会	県総文祭	
H37役員							副会長	事務局長	会計			監査		監査	事務局次長		書記
H37大会担当	県総文祭				春季大会						竜王戦						秋季大会

B 試合運営担当校・物品管理担当校担当

	19	20	21	22	23	24	25	26	27
	翔洋学園	茨城	水城	水戸葵陵	清真	霞ヶ浦	土浦日大	土浦日中等	東洋大牛久
H27分担(竜王戦まで)		将棋盤駒管理						対局時計管理	
H27分担(秋季大会まで)									
H28分担(竜王戦まで)									

※秋季大会顧問会議で顧問の先生方の立会いのもと、厳正な抽選を行い、上記のH27のように決まりました。H28については将棋部会加入高校に変化がなければ、上記H28のようになり、H29以降も順次移行していきます。

※加入しない高校が出た場合は学事録配列順にずれることになります。例えば、H27に石岡一高の顧問が転勤し、生徒も退部し、将棋部がなくなって非加入となった場合は、次の順番の竜ヶ崎一高が春季大会担当校となります。

※記録係 兼 現事務局長(H26)からのお願い。
H27に担当した分担当した係は、H28に係になった担当者から、「どのような準備が必要か、当日何をすべきか、事後処理(上位大会事務局への報告等)はどうするか」等問い合わせが来るとおられるので、次年度への引き継ぎ・記録も忘れずお願いします。

○試合運営担当校・物品管理担当校担当

- 1 「秋季大会→秋季大会→竜王戦」の機具類管理、運搬
- 2 「竜王戦→県総文祭→秋季大会」の機具類管理、運搬

竜王戦以降についてはグループ内で決定します。

仮定1(H28)に海洋高が将棋部会に加入しなかった場合

→学事録で次の順番である大洗高に役割がずれ大洗が審判であるため、大洗高の分が鹿島高にずれる。

A 事務局等担当グループ

大洗がH27、H28に審判を担当したとき

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	12	13	14	16	17	18	28
	茨城高専	日立一	日立工	日立商	太田一	水戸一	緑岡	海洋	大洗	鹿島	土浦一	石岡一	竜ヶ崎一	竹園	古河三	並木中等	江戸川取手
H27役員		監査		監査	事務局次長		書記		審判					副会長	事務局長	会計	
H27大会担当							秋季大会	県総文祭				春季大会					竜王戦
H28役員			監査		監査	事務局次長			審判	書記					副会長	事務局長	会計
H28大会担当	竜王戦								秋季大会	県総文祭			春季大会				
H29役員	会計			監査		監査	事務局次長		書記							副会長	事務局長
H29大会担当		竜王戦							秋季大会	県総文祭				春季大会			
H30役員	事務局長	会計			監査		監査		事務局次長		書記						副会長
H30大会担当			竜王戦								秋季大会	県総文祭			春季大会		

仮定2(H28、H29)に海洋高が将棋部会に加入せず、H30には加入した場合

→3年以内は務めていなかった役員または大会担当を務める。

【案】事務局長だけは将棋部会顧問を一年以上経た者としてはどうか。

A 事務局等担当グループ

大洗がH27、H28に審判を担当したとき

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	12	13	14	16	17	18	28
	茨城高専	日立一	日立工	日立商	太田一	水戸一	緑岡	海洋	大洗	鹿島	土浦一	石岡一	竜ヶ崎一	竹園	古河三	並木中等	江戸川取手
H27役員		監査		監査	事務局次長		書記		審判					副会長	事務局長	会計	
H27大会担当							秋季大会	県総文祭				春季大会					竜王戦
H28役員			監査		監査	事務局次長			審判	書記					副会長	事務局長	会計
H28大会担当	竜王戦								秋季大会	県総文祭			春季大会				
H29役員	会計			監査		監査	事務局次長		書記							副会長	事務局長
H29大会担当		竜王戦							秋季大会	県総文祭				春季大会			
H30役員	事務局長	会計			監査		監査	書記	事務局次長								副会長
H30大会担当			竜王戦					秋季大会				県総文祭			春季大会		

茨城県高等学校将棋連盟主催大会規定【案】

平成27（2015）年1月改訂《平成26年度第2回理事会検討用》

〔試合参加資格〕

- 1 茨城県高等学校文化連盟主催の各種大会に参加できるのは、同連盟に加盟している**高等（中等教育）学校等**の生徒とし、**引率者は生徒の言動を指導する責任を負う。ただし、将棋部がない学校の生徒で出場希望生徒がいる場合は以下の全ての条件を満たせば出場を認める。**
 - a 在籍する学校の**学校長**が**出場を認め、事故があった場合、学校保険の対象とすることを認める。**
 - b 在籍する学校の**教員**または**保護者等**が、**引率者として試合時間中に会場にいて、生徒の言動を監督し責任を負う。**
 - c **将棋部会の定める分担金を支払う。**

〔試合方式〕

- 2 試合は**ノックアウトトーナメント方式（以下「トーナメント」）**または**スイス式トーナメント方式（以下「スイス式」）**または**総当たり方式（以下「総当たり」）**とする。トーナメントの1回戦で敗退した者は敗者戦を行い、大会参加者は一人最低2回以上試合をする。県代表を選出する試合はトーナメントで行うことを原則とするが、出場者数が少ないか、過去の事例を見て上位大会への出場辞退者が多い部門については総当たりやスイス式も導入する。スイス式では勝敗数が同じでも、対戦相手により獲得ポイントが変わり、上位大会出場権獲得に関わってくるので、組み合わせについては特に留意し、その際は勝敗数が同じ者で抽選を行うことも検討する。

〔試合運営〕

- 3 大会の運営の関係上、**県代表の級（ブロック）は32名以内を原則とし、男子の県代表決定戦への出場申し込み者は1校3名以内とする。級種については大会毎に次のように設定し、各級への出場者数が多くなった場合は複数の組に分けて試合を行う。**

春季大会（全国総文祭団体予選） A級（男子・女子） B級（男女混合）

春季大会（全国総文祭個人予選） A級（男子・女子）

B級（男子と上位大会出場権を獲得した女子）

夏季大会（高校竜王戦予選） A級 B級 C級（初心者） 【いずれも男女混合】

県総文祭大会 A級 B級 C級 D級

秋季大会（関東・全国新人予選） A級（男子・女子）

B級（男子と、女子で上位大会出場権を獲得し試合が無くなった者）

スイス式と総当たり以外の試合については敗者戦を行う。

団体戦の県代表を競う試合は登録及び出場を選手3名とし、全国大会の定める人数と同じであることを要する。団体戦の県代表を競わない試合は、男女混合2名の出場も認める。2名出場の場合は中堅と大将に固定し、2名のチーム同士で戦い、勝敗数が同じ場合は大将が勝ったチームを勝ちとする。

県総文祭大会以外のA級は県代表決定戦とする。県総文祭大会は日本将棋連盟の定める基準に基づき、段級位を認定する。認定段級位は、A級は二段・初段、B級は1級～3級、C級は4級～6級、D級は7級～9級とする。また、県総文祭大会は運営に障りが出ない程度に教員の出場を認め、出場生徒の棋力向上を計る。

- 4 実績を勘案して、シード制とすることもある。
- 5 千日手などのルールは日本将棋連盟の規定に従う。
- 6 大会開催通知は大会1ヶ月前に関係方面に通知する。
- 7 大会に遅刻した者は失格もあり得る。ただし、**県代表決定戦以外では、交通機関の遅れなどやむを得ない遅**

刻理由であると顧問会議で認められた場合、スイス式等の後から試合が継続できる試合方式で行っている時に限り、将棋普及のため出場を認める。顧問会議は試合を始める前に行うものとし、引率者は顧問会議前に遅刻する生徒と連絡を取り、遅刻の理由を明確にして顧問会議の場に提出するものとする。引率者が顧問会議に合理的な遅刻の理由を提出できない時は該当の試合を不戦敗とし、スイス式2回戦以降についても参加を認めない。

- 8 対局の組み合わせは大会会場で番号を抽選して決める。(シード選手を除く)
- 9 同一校の選手が一回戦から対戦しないように留意する。すなわち、同一校の選手と同一ブロックなどに組み入られるような番号を引いたときは、大きい番号の選手は次のブロックなどの最小番号の他校選手と入れ替える。ただし、総当たりの場合は同一校同士の試合を初戦から行い、最終戦で不都合な調整が行われるのを防ぐ。
- 10 選手は自分の全対局が終了するまで試合場を離れてはいけない。
- 11 助言、声援などの大会の進行上、差し障りがあると判断された場合、役員は注意し、甚だしい場合には退場を命じる。
- 12 引率教員は、会場、進行、審判、記録、会計などの係を分担し、大会の円滑な運営を図る。
- 13 その他、大会運営上の諸問題については、役員会で決める。

[持ち時間]

- 14 **試合時間は対局時計数が十分にある場合、県代表決定戦では対局者にそれぞれ20分の持ち時間を与え、使いきったあとは1手30秒の秒読みとする。県代表決定戦以外は25分切れ負けとする。**

使用できる対局時計数が不足する場合は、準決勝までは、1時間以内とする。試合は40分を経過したのち、対局者にそれぞれ10分の持ち時間を与え、切れ負けとすることを原則とする。準決勝以上はそれぞれ20分の持ち時間を与え、使いきったあとは1手30秒の秒読みとすることを原則とする。持将棋差し直しは、初手より30秒以内の秒読みとする。入玉宣言法を採用し、先手の場合28点以上の持ち点、後手の場合は27点以上の持ち点を勝ちとする。

[分担金]

- 15 加盟校分担金は5千円とする。

入玉の宣言法

<宣言方法>

宣言しようとする側の手番では指さずに、「宣言します」と言い、時計を止めて対局を停止させ、(秒読み中は、時間切れ前に宣言し対局を停止する。)その時の局面が、次の条件を満たしていれば宣言した側が勝ちとなる。

<条件1>宣言側の玉が、敵陣三段目以内に入っている。

<条件2>宣言側が(大駒5点、小駒1点の計算で)

- ・先手の場合28点以上の持ち点がある。
- ・後手の場合27点以上の持ち点がある。

ただし、点数の対象となるのは玉を除く宣言側の持ち駒と敵陣三段目以内に存在する宣言側の駒のみである。

<条件3>宣言側の敵陣三段目以内の駒は、玉を除いて10以上存在する。

<条件4>宣言側の玉に王手がかかっている。(詰めろや必死であるということとは関係ない)

<条件5>宣言側の持ち時間が残っている。(切れ負けの場合)

以上一つでも条件がそろっていなかった場合、宣言した方が負けとなる。もちろん、宣言する前にどちらか片方が投了することは可能である。この規定は、どんな持ち時間制度でも適用する。

平成6（1994）年5月

- 1、 連盟主催の各種大会に参加できるのは、連盟に加盟している高校の生徒とする。
- 2、 試合はトーナメント方式とする。ただし、1回戦で敗退した者は敗者戦を行い、大会参加者は一人最低2回以上試合をする。
- 3、 大会の運営の関係上県代表のブロックは32名以内とする。その他は16名以内を1ブロックとする。ブロック名は強い順にA、B、Cとしていき、敗者戦はそれぞれD、E、Fとする。ただし、春の高校選手権大会は団体A、B、個人A、Bとし、敗者戦はそれぞれC、Dとする。この大会の個人Aへの申し込み者は1校3名以内とする。
- 4、 実績を勘案して、シード制とすることもある。
- 5、 試合時間は、準決勝までは、1時間以内とする。試合は40分を経過したのち、対局者にそれぞれ10分の持ち時間を与え、切れ負けとする。準決勝以上はそれぞれ20分の持ち時間を与え、使いきったあとは1手30秒の秒読みとする。持将棋差し直しは、初手より30秒以内の秒読みとする。入玉宣言法を採用し、先手の場合28点以上の持ち点、後手の場合は27点以上の持ち点を勝ちとする。
- 6、 千日手などのルールは日本将棋連盟の規定とする。
- 7、 その他、大会運営上の諸問題については、役員会で決める。
- 8、 大会開催通知は大会1ヶ月前に関係方面に通知する。
- 9、 大会に遅刻した者は失格もあり得る。
- 10、 対局の組み合わせは大会会場で番号を抽選して決める。（シード選手は別）
- 11、 同一校の選手が一回戦から対戦しないように留意する。すなわち、同一校の選手と同一ブロックなどに組み入れられるような番号を引いたときは、大きい番号の選手は次のブロックなどの最小番号の他校選手と入れ替える。
- 12、 選手は自分の全対局が終了するまで試合場を離れてはいけない。
- 13、 助言、声援などの大会の進行上、差し障りがあると判断された場合、役員は注意し、甚だしい場合には退場を命じる。
- 14、 引率教員は、会場、進行、審判、記録、会計などの係を分担し、大会の円滑な運営を図る。
- 15、 加盟校分担金は5千円とする。

入玉の宣言法

<宣言方法>

宣言しようとする側の手番では指さずに、「宣言します」と言い、時計を止めて対局を停止させ、（秒読み中は、時間切れ前に宣言し対局を停止する。）その時の局面が、次の条件を満たしていれば宣言した側が勝ちとなる。

<条件1>宣言側の玉が、敵陣三段目以内に入っている。

<条件2>宣言側が（大駒5点、小駒1点の計算で）

- ・先手の場合28点以上の持ち点がある。
- ・後手の場合27点以上の持ち点がある。

ただし、点数の対象となるのは玉を除く宣言側の持ち駒と敵陣三段目以内存在する宣言側の駒のみである。

<条件3>宣言側の敵陣三段目以内の駒は、玉を除いて10以上存在する。

<条件4>宣言側の玉に王手がかかっている。（詰めろや必死であるということとは関係ない）

<条件5>宣言側の持ち時間が残っている。（切れ負けの場合）

以上一つでも条件がそろっていなかった場合、宣言した方が負けとなる。もちろん、宣言する前にどちらか片方が投了することは可能である。この規定は、どんな持ち時間制度でも適用する。

茨高文連 各部部长 殿

茨城県高等学校文化連盟会長 平野 厚
(公印省略)

平成26年度「茨城県高等学校文化連盟賞」表彰候補者の推薦について(依頼)

春寒の候、貴職におかれましては益々御清栄のことと拝察申し上げます。
日頃は、本連盟の活動並びに高校生の芸術文化活動に御理解と御協力を賜り、感謝申し上げます。
さて、このことについて、下記のとおり「茨城県高等学校文化連盟賞」表彰候補者を御推薦くださるようお願い申し上げます。

記

- 1 推薦基準 茨城県高等学校文化連盟表彰規程のとおり
- 2 推薦書提出期日 平成27年2月5日(木)必着
- 3 推薦書提出先 〒310-0852 水戸市笠原町1284 県立緑岡高等学校内
茨城県高等学校文化連盟事務局 担当:井川,山口
TEL 029-241-0311 FAX 029-241-7929

- 4 その他 表彰候補者推薦書は複写して御使用ください。
該当者が無い場合にもその旨、FAXで御連絡ください。

茨城県高等学校文化連盟表彰規程

(目的)

第1条 この規程は、茨城県高等学校文化連盟(以下「本連盟」と称する)の活動を通して、本県高校生の文化活動における功績が顕著な者に対し、これを表彰し、高等学校文化活動の振興及び発展に資することを目的とする。

(賞の名称)

第2条 表彰の名称は、「茨城県高等学校文化連盟賞」とする。

(選考基準)

第3条 本連盟加盟校の生徒及び団体で、各学校における文化活動において積極的に活動し、その実績が顕著で、他の生徒の模範と認められ、各部部长から特に推薦された者に贈呈する。

(推薦)

第4条 被表彰者の推薦は、次のとおりとする。

- (1) 該当者の選出方法については、各部部长に委任する。推薦数は3名以内又は3団体以内とする。
- (2) 各部部长を通して、該当者及び該当団体を別に定める様式により本連盟事務局に報告する。

(選考・決定)

第5条 被表彰者の選考は、各部部长から推薦された者を理事会で行い、本連盟会長が決定する。

(表彰)

第6条 表彰は、当該年度内に該当校で行う。

(その他)

第7条 この規程に定めるもののほか、必要な事項については別に定める。

付 則

この規程は、平成26年1月20日から施行する。

事務局案候補(今年度から開始/将棋部会から3名選出)

- 1 上村友大(太田一・総文祭出場・総文祭選手宣誓・全国高校竜王戦全国3位)・1年生
- 2 岩堀佳菜(土浦一・総文祭本戦出場ベスト16・総文祭選手宣誓)・2年生
- 3 中谷祥也(牛久栄進・総文祭本戦出場/昨年度総文祭5位/昨年度全国新人大会2位)・3年生
- 4 山崎英幸(翔洋・総文祭本戦出場ベスト16)・2年生
- 5 足立美桜(水戸葵陵・総文祭出場)3年
- 6 崔恵仁(水戸葵陵・総文祭出場)3年
- 7 団体(男子:江戸川学園取手高校(2年・2年・1年) または 女子:鹿島高校(全員2年)

【案】今年度の実績のみでいえば上村・岩堀・山崎だが、来年度もこの賞はあるので3年生の中谷と、岩堀・水戸葵陵高校(昨年女子団体で出場し、また今年度に足立・崔が出場することをとる。)将棋部会では3年間での実績で受賞者を選考するものとする。→中谷・岩堀・水戸葵陵高校将棋部で承認された。

高等学校文化活動推進事業【将棋部会】について

1 必要な条件

- ①外部指導者による複数(3~5回程度/5月中旬~2月)の生徒に対する指導を行う。
- ②その成果の発表の場を設ける(既存大会等の拡張可)。県総文祭を発表の場にして良い。
- ③将棋部会は平成27年度に実施する(毎年5部会程度の持ち回り)。
- ④年間指導計画に、本事業による指導計画(日時、場所、対象、内容等)を入れる形で作成する。
- ⑤依頼文書等の実際の生徒への指導に係る一切のことは各部会が対応する。
- ⑥4月末には年間指導計画を高文連事務局と文化課に提出する。
- ⑦毎回指導後に事業実施報告書を文化課に提出する。
- ⑧指導実施終了後に事業実績報告書を文化課に提出する。
- ⑨1部会あたり、謝礼の上限は年間合計21万円である。
- ⑩1部会あたり、旅費の上限は年間合計5万6千円である。
- ⑪指導者は1人だけに限ることなく2~3人の複数に依頼することも可である。
- ⑫指導を受ける生徒が特定校に集中するのではなく多くの生徒が指導を受けられるように設定する。

2 外部指導者を誰に委任するか?

- ①女流プロ棋士(本田小百合女流三段〔水戸市出身〕・熊倉紫野女流初段〔古河三高出身〕等)
- ②日本将棋連盟茨城県支部連合会所属の茨城在住アマ強豪(いばらき総文2014の審判等)。
- ③日本将棋連盟プロ棋士(茨城県に縁のある戸辺六段等)

【原案】①と②の両方ではどうか。

4 時期・回数をどのようにするか?

- ・公式戦ではないため、平日(授業があるとき)は問題があり、週末・長期休業中・大会当日に実施したい。
- ・高校生上位大会(全国総文祭、全国高校竜王戦、高校関東大会、全国新人大会)及び日本将棋連盟茨城県支部連合会主催の大会(アマ名人戦茨城県大会等)があるときは避ける。
- ・「発表の場」は県総文祭大会

【原案】

- ① 6月20日(土)または6月27日(土)
- ② 8月1日(土)または8月2日(日)
- ③ 8月29日(土)または8月30日(日)
- ④ 12月12日(土)または12月13日(日)
→関東大会出場選手の強化を兼ね、代表選手への参加を強く推奨する
- ⑤ 1月23日(土)または1月24日(日)
→全国新人大会出場選手の強化を兼ね、代表選手への参加を強く推奨する
- ⑥ 竜王戦【6月13日(土)】
→多くの選手の参加を期待できる(対象はA級敗者と、その他の希望者〔試合は途中棄権〕)
- ⑦ 秋季大会【11月13日(金)】
→多くの選手の参加を期待(対象はA級敗者と、その他の希望者〔試合は途中棄権〕)

※この日程は上記の条件を満たしている。このうち3~5日間を実施日としてはどうか?竜王戦等試合での実施以外としては、交通に便利な学校として水戸一高または石岡一高で1回ほど実施して、その他については自校での開催を希望する学校を募る。開催を希望する場合は外部指導者の送迎、昼食準備などを開催校将棋部顧問が行うことを原則とする。参加学校については、所属校に近い学校

で開催する場合はなるべく参加して欲しい。

【参考事例】演劇部会→県内を6地区に分割し、それぞれの学校は所属地区の開催場所に参加する（＝出張が1回増だけで済む）。

5 指導者の依頼をする手順について

- ② 水戸一高将棋部顧問に上記の日程で知道会館が使えるか確認依頼する。
- ②総会時4/16にいきなり提案をされても各校顧問が日程確認することが難しいので、事前にFAXまたはメールで提案を送信して、各校顧問は読んだうえで自校の意見を整理しておくように依頼する。
- ③総会時に高等学校文化活動推進事業についての説明を行う。またこの事業の自校開催を希望するかを確認する。
- ④総会を経て、開催日と開催場所が決定したら女流プロ棋士、茨城県支部連合会に（またはアマ強豪に直接）協力要請を行う。
- ⑤4月中に整理して文化課に報告する。

6 各学校の顧問の先生へのお願い

上記「4」の日程中でアマ強豪または女流棋士の指導を受ける日程を設定する場合、いつにすべきか。またそのときに「4※」「5③」のようにこの事業の自校開催を希望するか。この2点について自校案を総会時に述べていただけますようお願いいたします。

将棋部会サイトに将棋部会公文書を掲載することについて

平成26年度第2回理事会で提案された、「将棋部会サイトに公文書類を掲示するようにすれば各校顧問も都合がいいのではないか」を受け、平成27年度は、大会担当者等はWeb担当者に公文書類のデジタルデータを送って欲しい。

将棋部会メールアドレスを全国事務局等への登録アドレスにすることについて

事務局輪番制導入に伴い、全国高文連将棋専門部への登録メールアドレスが、毎年変わると引き継ぎが大変になる。将棋部会メールアドレス【変更前：shogi@edu.pref.ibaraki.jp】

【変更後：shogi@koubun.ibk.ed.jp】を一貫して使うようにすることが適切ではないかと考え提案する。

40周年記念誌について

別紙参照

事務局持ち回り制に伴う50周年記念誌発刊のためのデータの保存について

40周年記念誌は事務局長、事務局次長のところに全データがあったので、比較的編集しやすかったが、今後は毎年、事務局長が変わるのでデータの保持が難しくなる。「栄光の記録」（主要な試合結果）こそが大切な部分なので、今後は担当大会の結果を（今までのように）一覧にまとめて理事会に提出するのとは別に、大会担当者が40周年記念誌の書式に準じて文章やトーナメント結果表を作成し、事務局長とウェブ担当者に提出し、将棋部会サイトにアップロードしておくのはどうだろうか？

平成27年度将棋部会加盟校及び顧問名

学校名	顧 問 名		理事会出席校
日 立 一	鈴 木 純 子	沢 畑 雅 彦 / 福 田 茂 樹	欠席
日 立 工	関 根 理 恵 子		出席
日 立 商	中 村 秀 子	及 川 あ か り	出席
太 田 一	中 郡 久 夫 / 堀 江 信 人	原 田 正 剛 / 青 木 公 司	出席
水 戸 一	黒 羽 信 夫	竹 村 広 治 / 豊 崎 利 明	出席 (会場校)
緑 岡	斧 田 並 枝	山 田 健 二	出席
石 岡 一	矢 須 雅 進		出席
海 洋	鹿 島 卓 郎	来 栖 敏 行	欠席
大 洗	藤 崎 正 輝	菊 池 智 子	出席
鹿 島	亀 田 拓	高 柳 光 孝	欠席
土 浦 一	木 村 幸 彦	櫻 井 友 裕 / 井 川 裕 司	出席
竜 ケ 崎 一	荒 井 豊 水		欠席
竹 園	坂 入 勝 雄		出席
並 木 中 等 教 育	佐 藤 康		出席
古 河 三	増 淵 禎 志	蒲 地 光 太	出席
水 戸 葵 陵	今 井 健 二	小 沼 恵	出席
茨 城	原 健 一		出席
水 城	小 賀 柳 一	宮 城 晶 軌	欠席
東 洋 大 牛 久	中 島 穂 高	加 藤 曲 人	欠席
茨 城 高 専	鈴 木 康 司	皆 藤 新 一	出席
土 浦 日 大	安 齋 隆	粂 山 晴 伸	欠席
霞 ケ 浦	江 幡 収 一		欠席
清 真	関 修 一		欠席
江 戸 川 学 園 取 手	板 橋 宏	桑 原 昭 之	出席
土浦日大中等教育学校	豊 島 雪 乃		欠席

※左端に書かれている方が将棋部会加入校の理事となります。